

LPガスCP情報(2013年12月積み)

(単月上げ幅過去最高・ブタン最高値更新)

1. 12月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン1, 100^{ドル} (前月比 +225^{ドル})

ブタン 1, 225^{ドル} (前月比 +310^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、需要期入りに極東は寒波到来、トレーダー勢が引き合いを強める一方、産ガス国は国内石化需要増もあり供給がタイト、日を追うごとにスポットが急騰し、CP先物指標は第4週でプロパン1,056^{ドル}、ブタン1,171^{ドル}、極東CFRはプロパン1,125^{ドル}、ブタン1,240^{ドル}に達した。特に、ブタンは東南アジアの堅調な需要に対し供給余力がなくブタン高が顕著になった。前月比ではプロパン、ブタンともに単月として過去最大の上げ幅、ブタンは史上最高値を更新した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン26ポイント、ブタン36ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン12、ブタン32ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	60.5	62.3	62.8	64.0	62.4
CP先物指標：P	869	913	969	1,056	951
CP先物指標：B	926	983	1,049	1,171	1,032

② 原油市況等

原油市況をみると、11月WTIは94^{ドル}、ドバイ104^{ドル}台でスタート。米国は国内原油生産量がシェールオイル開発で急増、1989年1月以来の日量800万バレルに達し、米国原油在庫が急増、クッシング在庫も7週連続増となり7月の水準まで戻している。このファンダメンタルズの弱さからWTIは独歩安となり、ブレント原油とは19^{ドル}、ドバイとは17^{ドル}もの格差が生じている。一方、先物市場をみると、WTIの建玉(総取組高)は163万枚まで減少(9月ピークから16%減)、大口投機玉ネット買い越しも31.3万枚とピークから5万枚減少している。

○11月積みアラビアンライト(11月1~28日)は109.01^{ドル}(前月比-1.07^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン893.77^{ドル/トン} ブタン881.51^{ドル/トン}

AL比 プロパン123.07% ブタン138.97%

2. 2013年12月~2014年1月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	101.92	112,112	124,852	+25,100	+33,800
26~25日②	100.25	99,000	107,300	+15,200	+20,000
1~30日③	100.90	95,900	102,700	+13,000	+16,500
1~31日④	100.90	99,600	108,000	+15,800	+20,700

*TTS平均は①が11月16日~11月28日まで、②は10月26日~11月25日

③は11月1~28日、④は11月1~28日、①は1月仕切への影響、②~④は、12月仕切適用。③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。